

令和 5 年 9 月 6 日
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所

災害対策用機器操作講習会（道路系）の実施について

～「国」「自治体」「民間企業」の三者合同での操作講習会の開催～

常陸河川国道事務所では、地震や洪水等による災害発生時に迅速な復旧活動を行うため、排水ポンプ車などの災害対策用機器を配備しています。これらの機器は、各自治体からの要請により貸付することも可能となっており、令和元年 10 月に発生した東日本台風における災害復旧においても活躍しています。

このため、実際に機器を操作することが想定される関係自治体や災害協定を締結している建設会社を対象として、操作講習会を実施することと致しましたのでお知らせします。

- 開催日時 令和 5 年 9 月 14 日（木）10：00～12：00、13：30～15：30
令和 5 年 9 月 15 日（金）10：00～12：00、13：30～15：30
両日とも午前の部、午後の部に分けて開催します。
講習内容は午前の部、午後の部とも同じ内容です。
雨天決行ですが、荒天時や災害対応等やむを得ない理由により、中止となる場合があります。
- 会 場 茨城県東茨城郡茨城町長岡地先（別紙 1 案内図参照）
- 対象機器 （1）照明車 （2）車両移動機器（別紙 2 参照）

取材について

講習の取材は可能です。取材にあたっては別紙 3 取材申込書にて事前に申し込みをお願いします。会場内では各社の腕章等を着用してください。自動車は、講習会場敷地内に駐車可能です。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ

<問い合わせ先>

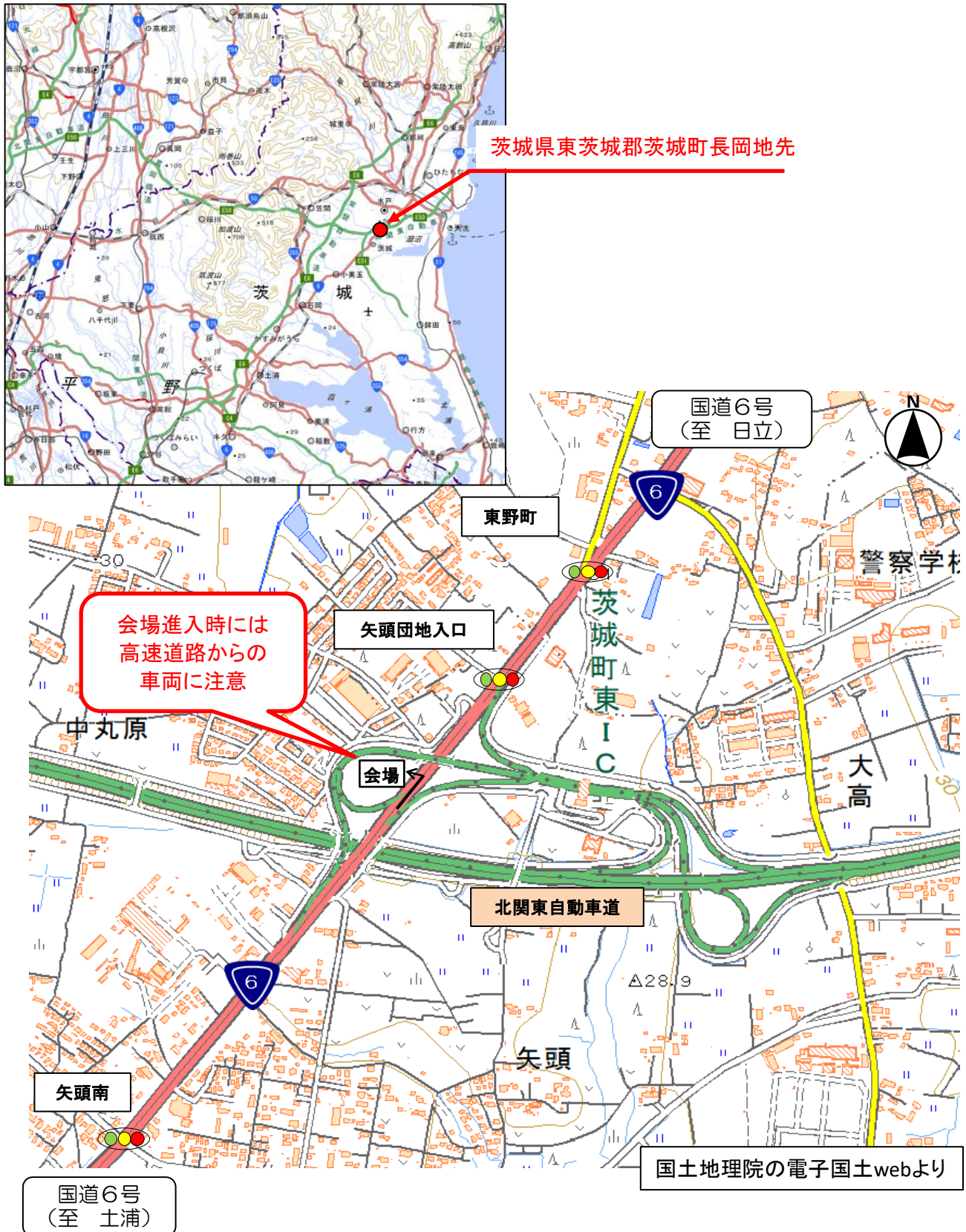
関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話：029-240-4061（代表） FAX：029-240-4081（代表）

副所長 石崎 睦（いしざき むつみ）（内線：205）

防災課長 高野 協（たかの きょう）（内線：281）

令和5年度 災害対策用機器操作講習会 会場案内図



※講習会場は、国道6号沿いになります。

※国道6号下り車線(土浦方面から日立方面へ向かう車線側)からしか入れません。

※インターチェンジ付近のため高速道路を降りてくる車に十分注意して下さい。

災害対策用機器操作講習

1. 対象機器及び操作講習内容

○対象機器

・排水ポンプ車

浸水地域の水を河川等に排水するための車両です。
今回の講習会においては訓練の対象外です。

・照明車

夜間作業を行うための照明を備えた車両です。
車両の設置及び撤去、ブームの操作、照明の点灯などを講習会にて実施します。

・対策本部車

被災地等の周辺に設置し、現場での打ち合わせ等に使用します。
今回の講習会においては訓練の対象外です。

・待機支援車

被災地等の周辺に設置し、現場での休憩等に使用します。
今回の講習会においては訓練の対象外です。

・車両移動機器

被災地等において直ちに道路啓開をし、緊急車両の通行ルートを迅速に確保するために使用します。
車両移動機器の設置及び車両の移動などを講習会にて実施します。
(車両移動機器は車両移動ジャッキ、車両移動吊具、フォークリフトレッカーの3種類あります。)

訓練状況(R4年度)



照明車 操作訓練



車両移動ジャッキ実施訓練



車両移動吊具実施訓練



フォークリフトレッカー実施訓練

排水ポンプ車 60m³/min

大型

6人
60分

人力

高い排水能力で甚大な水害に対応

大雨等の災害時において、大容量の排水が可能な排水ポンプ車です。

[機能]

- ・毎分60m³の排水が可能(7.5m³/min×8台、全揚程10m) ※25mプールを約5分で排水可能
- ・排水距離は最大50m
- ・作業用照明設備は、1kW×1(可搬型バルーン照明)、500W×2(ハロゲン灯)
- ・ポンプ単体質量 37kg/台

●使用現場での諸条件

- (1) 進入路は、幅3.5m程度が必要です。(車両幅2.5m)
- (2) 作業エリアは、幅4.5m×長さ25m程度が必要です。
- (3) 設置作業にかかる時間は6名で約60分程度
- (4) 水深1.0m以上でないと運転できない。

[運用諸元] 運転免許: 大型自動車

[装 備 品] 発 電 機 : 300kVA

排水
ポンプ



照明車 ブーム式

準中型
8t限定

1人
10分

人力

夜間作業を強力にサポート

災害時において、夜間作業時の照明
及び電源供給を行います。

[機能]

- ・1. 2kW×6灯(LED灯)の照明を
装備
- ・13kVAの電源供給が可能(照明不
使用時)
- ・照明は地上20mまで上昇可能
- ・照明車から50m離れたところでも新
聞が読める程度の明るさを確保可能
- ・ブームは360° 旋回可能

●使用現場での諸条件

- (1) 進入路は、幅3.0m程度必要です。(車両
幅2.2m)
- (2) 作業エリアは、幅5m×長さ9m程度必要
です。※アウトリガーの張出しに注意が必要。
- (3) 設置作業にかかる時間は1名で10分程度

[運用諸元] 運転免許: 準中型自動車(8t限定可)

[装 備 品] 発 電 機 : 発電発電機 13kVA



ブーム
伸長時



照明車 2柱式

準中型
8t 限定

1人
10分

人力

狭い現場の夜間作業をサポート

災害時において、夜間作業時の照明及び電源供給を行います。

〔機能〕

- ・2kW×6灯(メタルハライド灯)の照明を装備
- ・20kVAの電源供給が可能(照明不使用時)
- ・照明は地上10mまで上昇可能
- ・照明車から50m離れたところでも新聞が読める程度の明るさを確保可能
- ・狭い現場でも設置可能

●使用現場での諸条件

- (1) 進入路は、幅2.5m程度必要です。(車両幅1.8m)
- (2) 作業エリアは、幅4m×長さ6m程度必要です。
- (3) 設置作業にかかる時間は1名で約10分程度

〔運用諸元〕運転免許：準中型自動車(8t限定可)

〔装 備 品〕発 電 機：発動発電機 20kVA

ポール
伸長時



車両移動機器

人力
機械

可搬

災害発生時に放置車両を移動

大規模地震や大雪等の災害時には、被災地や被災地に向かう道路上に大量の放置車両や立ち往生車両が発生し、消防や救助活動の支障となります。このような事態に迅速に対応するため、平成26年11月14日に災害対策基本法の一部を改正する法律が成立し、道路管理者が自ら車両移動の措置を講ずることが可能になりました。



車両移動ジャッキ

[機能]

・対象車両: 普通車(3・5・7ナンバー)以下

●使用現場での諸条件

各機器とも舗装路以外でも使用可能ですが、路面状況や車両重量、車体の大きさなど状況を確認する必要があります。



車両移動吊具



フォークリフトレッカー

取材の申し込み

災害対策用機器操作講習会（道路系）

取材申込書

1. 貴社名 _____

(ふりがな) _____

2. 氏名 _____

(ふりがな) _____

3. 連絡先

電話番号 _____

FAX番号 _____

4. 取材希望日時（どちらかに○）

9月14日（ 午前 ・ 午後 ） 9月15日（ 午前 ・ 午後 ）

【申込先】

国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 防災課長 高野 行

E-mail : ktr-bousai-724@mlit.go.jp

取材希望の方は、令和5年9月13日（水）15時までに、上記宛先までご連絡いただきますようお願いいたします。

※送信後、お手数ですが受信確認の連絡（TEL 029-240-4074）をお願いします。

5. 取材に当たっての注意事項

取材に当たっては、以下の注意事項をご確認いただき、その遵守へのご協力をお願いいたします。

○事故防止の観点から、取材に当たっては節度ある行動をお願いします。

○手荷物・貴重品等の管理は各自にてお願いします。

○以下の症状がある方の入場はご遠慮いただきます。また、会場でのマスク着用は個人の判断でお願いします。

・風邪の症状や37.5℃以上の発熱がある方

・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方

・その他、ご自身の体調に不安がある方